

日本のものづくりの未来を支える（平成 30 年 12 月 6 日更新）

初めての実習を通して、30期生は実際の企業に赴いて自ら生のデータを収集し、プロの診断技法を使って分析することの難しさと手応えを体験しました。

そして現在は、次の製造業経営診断実習に向け、本格的な診断技法の習得を目的としたシリーズ演習に入りました。今週は実際に実習先での実態調査をイメージしながら、生産マネジメントの体系と現場分析のためのI E技法を学んでいます。

I E技法は、製造業分野での中小企業支援では基本中の基本になります。これからの日本のものづくり企業の成長を支援するには、必須のスキルです。

本日は、作業分析のトレーニングで、知識を学ぶだけでなく、製造現場で撮影したビデオを用いて、計測、分析、評価までの実務を学びました。

